

令和7年度予算案を審議 一般会計予算額は855億1200万円



予算審査特別委員会の様子

令和7年度一般会計予算については、6人で構成する予算審査特別委員会が3月3日に設置され、3月10日から12日、および14日の4日間にわたり審査が行われました。その後、3月24日の本会議において、賛成多数をもって原案のとおり可決されました。本会議における一般会計予算に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

〔予算審査特別委員会〕

委員長	中川 弘	委員	渡辺 仁二
副委員長	小沢 えみり	委員	戸辺 滋
委員	乾 えり	委員	西尾 段

予算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

こちらから
ご覧いただけます



流山市議会
予算審査特別委員会

検索

各会派等の意見表明

反対

日本共産党

次の理由から反対です。
①人口増に伴い、多様化し、増え続ける市民要望への対応が不十分です。
②加齢性難聴者補聴器購入費助成、人感センサーによる孤立死予防は制度化するものの、大変使いづらく、リーススクールに通う児童生徒への通学支援もゼロ予算です。学校給食の値上げにより総額2億円超も保護者負担増の一方、学校給食の地産地消事業は廃止されました。
③防災対策も不十分です。備蓄倉庫の増設は2年連続ゼロ。段ボールベッドなどの備蓄量は最大収容

賛成

流政会

賛成

公明党

令和7年度予算審査特別委員会において、教育・人材育成・まちづくりの観点から、質疑・提案を行いました。
教育では、架け橋期教育の基盤形成を確実にする「幼保小連携の日」の実施や、学校外の学びの選択肢拡充、不登校支援の強化と、こどもと保護者へ必要な支援が届くよう求めました。
人材育成では、行政職員の採用、公務員の魅力発信や若手職員の早期育成、管理職研修の充実を提案しました。また不祥事防止策として、WEB



賛成

流山みらい

賛成

自由民主党

歳出に対し5点指摘して賛成します。①自治会活動を周知することで、自治会活動を後押しすべしと指摘します。②ぐりんバスは、市民の足としての利便性向上のほか、高齢者の移動支援として外出促進や健康増進にもなります。できるだけ路線を維持すべきと指摘します。③小中学校については、要望を全て聞いています。予算がいくらあっても足りませんが、厳しすぎても現場が困ります。バランス感覚を持って調整すべきです。情報が激増する中、児童・生徒が

その内容がおおむね評価できるものであり、賛成とします。以下、5点を改めて要望・指摘します。
①点目、学校給食費については、質・量を確保しつつも、さらなる値上げをする事態とならないよう措置を強く求めます。
次に、在宅医療・介護従者の安全対策について、当市として取り組むべき対策を整理し、着実に実施することを求めます。
次に、株式会社流山ツリーズデザインズの経営について、令和5年度に多額の赤字が生じている流山万華鏡ギャラリー&